

活動名	性被害と性加害		
学校名	平塚市立港小学校		
学年	第5学年	人数	港小：27人、27人、28人
日時	港小 令和5年10月26日（木）9：40～10：25、10：45～11：30、11：35～12：20		
取扱いの分類	学級活動		
講師	養護教諭		
学習のねらい	（1）性被害にあわないために、どんなことに気をつければよいかを知り、予防のための行動を身につけられるようになる。 （2）現代は SNS などから色々な情報を得ることができるが、その中には実際とはちがうことや、危険な出会いがあることを知り、自己防衛のための慎重な行動がとれるようにする。		
内容	（導入） ①本日のめあてを確認する。 ⇒性被害と性加害～被害者・加害者にならないために～ ②プライベートゾーンについて復習・理解する。 （展開） ③性被害、性加害について理解する。 ・自分たちの身の回りにある性的いたずらについて考える。 ④小学生に多い性被害 ・性被害の年齢層、狙われやすい時間帯、性被害にあいやすい場所などを知る。 ⑤SNS において、見えない相手とつながることの危険性を理解する。 ・事例を見てワークシートに自分だったらどうするかを考えて記入する。 ・SNS の話を用いてロールプレイを行う。 ・ロールプレイ後、良かった点について自分なりに考えてみる。 ・SNS をやる上で知っておくべきことを知る。 （まとめ） ⑥自分で自分を守る言葉を覚えておく。 ・NO・GO・TELL ⑦感想・振り返りをワークシートに記入する。 （参考） ・第1章総論編：小学校における性に関する指導の目標及び指導内容、人権教育 ・第2章実践編：第5学年「けがの防止」（体育科 保健領域）		

成果 (児童・生徒、 教職員の感想 等)	児童からは「性の被害にあう人が小学生が一番多いと知って、びっくりしました」や「断り方とかを知れてよかった」「見える物がすべてじゃない」「自分の体は自分で守ることが分かった」「味方、信頼できる人を見つけて、困ったときは相談するといいいことがわかった」等感想があった。より身近に性被害・加害について考え、対処方法を具体的に学ぶことができたようだった。
課題	身近に考えられていた一方で、どこかで「自分は大丈夫」と他人事のように思っている人が多いように感じた。「自分は大丈夫」と思っている時、孤独を感じているなど「誰かと話したい!」と思った時に SNS を使用し、何か言われたら本当にきちんと断ることができるのか? そこまで深く掘り下げて話すことが出来たらよかった。
学校全体での 取組や工夫 (予定も可)	ICT 機器を使う上でのルールやマナーについて全体指導をしていく。

(パワーポイントの資料抜粋)

自分で自分を守る合言葉

NO

いやなときには いやだと言おう

GO

いやなこと、こわいことがあったら
その場からにげよう

TELL

こまったことがおこったら、自分が
信頼できるおとなに話そう



いぬのえもん

SNSをやる上で知っておいてほしいこと

一度SNSで広まった^{じょうほう}情報は、消すことができない。

